

2021年3月1日

アメリカ合衆国大使館気付

ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア大統領 閣下

アメリカ合衆国における臨界前核実験実施に抗議します

生活協同組合パルシステム東京

理事長 松野 玲子

私たちパルシステム東京は、「『食べもの』『地球環境』『人』を大切にした『社会』をつくれます」を理念に掲げ、約52万人の組合員を擁する生活協同組合です。唯一の戦争被爆国の市民として、人類共通の願いである世界の恒久平和と核兵器廃絶に向けた活動を続けています。パルシステム東京は創立以来あらゆる国の核実験に反対しています。

貴国が、2020年11月に、ネバダ州にて前政権下での3回目の臨界前核実験を実施したことに嚴重に抗議いたします。2021年1月22日には、核兵器禁止条約が発効されました。世界の多くの人々の平和と核兵器廃絶を求めた願いに対し明らかに逆行した行為であり、国際世論を踏みにじるもので、決して容認できません。

ヒロシマ・ナガサキが示すとおり、核兵器は使用された時のみならず、将来にわたり被爆した人々を苦しめる非人道的な兵器です。人類が再び被爆者を生むことのないよう、核兵器の維持存続や開発につながる全ての核実験中止と核兵器開発を放棄し、核兵器のない新たな世界秩序の構築に向けた責任を果たすよう強く求めます。

以上